

港区坪単価2万円以上の高級物件の影響強く平均坪単価上昇

渋谷区は礼金ゼロ物件の募集戸数増加

リーシング・マネジメント・コンサルティング

2004年11月以降

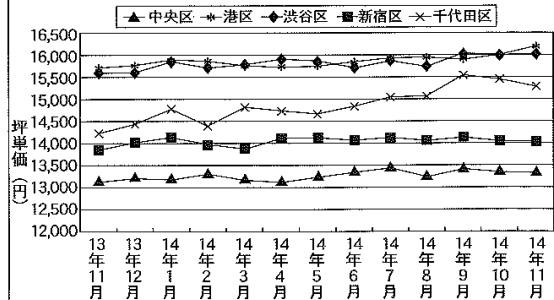
リーシング・マネジメント・コンサルティング（東京港区）は、2014年12月末に11月末時点での都心主要5区賃貸マンションの坪単価推移、礼金額推移を発表した。

港区の平均坪単価が上がった要因は、坪単価2万円以上の高級物件の影響が強いと考えられる。

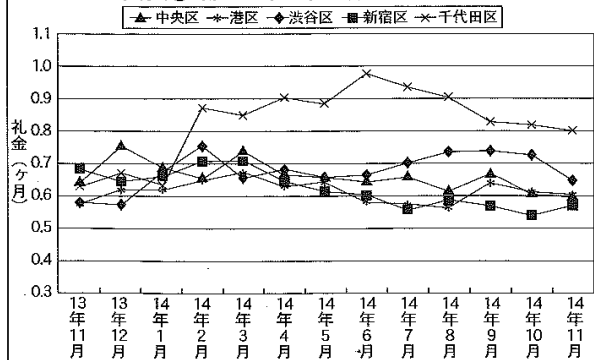
千代田区では173円下落した。そのほかの3区、渋谷区ではプラス43円、中央区、新宿区、新大塚区でマイナス11円とほぼ横ばいだ。

前年同月比では、港区、渋谷区、千代田区では、礼金ゼロ物件の募集戸数が増加。そのため、大幅な下落の

図表① 都心5区 平均募集坪単価推移



図表② 都心5区 平均募集礼金推移



2円と大幅に上昇した要因となったとみていい。

千代田区をはじめ、引き続き5区とも上昇となっている。

平均募集礼金は、10月、千代田区で0.02%、中央区で0.01%、港区で0.01%、新宿区で0.01%、渋谷区で0.01%とほぼ横ばいだ。

前年度同月比では、港区、渋谷区、千代田区では、礼金ゼロ物件の募集戸数が増加。そのため、大幅な下落の